

のぞみの家

4月号

第389号

社会福祉法人 さくらんぼの里
のぞみの家(生活介護・就労継続支援B型)
〒990-2403 山形市大字岩波字鬼越3番1
TEL (023) 624-4825
nozomi-cherry1987@r9.dion.ne.jp
<https://nozominoie.hp.gogo.jp>
令和7年 4月1日発行

進んでいることを定量的に把握

理事長 黒木仁

目指すべきことは？ のぞみの家にとって、職員が目指すべきは何でしょう。
こうした問いかけに即座に答えられる必要があります。そして、そのことが
実現できるように具体的に行動することができているかが問われます。
特別、完璧さを求める必要はありません。



一歩前進 それより、今より一歩前進することが求められます。
今できることを一工夫して、「一歩も二歩も進んでいるなあ」と、同僚も自らも利用者も
保護者も確認できるようにすることです。
進んでいるとは、単なる主観的なものでは独りよがりになりがちです。客観的に「なるほ
ど」と納得できるものでなければなりません。

数的に評価 数量的に表されることが重要です。こうした評価方法は結構難しいのです。
時間内に何個できた、何種類もの部品組立ができた、ミスが何%減った、などです。それ
が明確になれば、利用者の仕事の効率が明らかに上がっていることがわかるのです。
もちろん、そんなに明確な評価評定を利用者全員にできることは困難です。サンプリング
を定期的に行うなどの工夫が必要となります。
定性的なあいまいな評価でなく、定量的な明確な評価を時折取り入れる努力が大事です。

職務の効率化 それによって、職員の職務内容の効率性も明確になります。
職務のスピード、質の向上、より良い協力関係、利用者支援などについて、量や質を定量
的に把握できるようになれば、仕事の進歩が明確になります。
職員一人ひとりのやりがいにもつながり、組織運営が一層いい方向に進むことになります。

東 雲 ～しののめ～ 施設長 田中 頼子

年末から年が明けるとスーパー等のディスプ
レイが目まぐるしく入れ変わります。ハロウイ
ン、クリスマス、正月、節分、バレンタイン、
節句など、数日間や一晩で次の商戦へのチェン
ジは圧巻です。そこで気になるのは、切り替え
の前日でも品物は十分残っていること。季節の
物なので、その後は消えてしまう。一部商品ロ
スにご協力くださいなどでワゴンに乗っている
ことは見かけますが、あの大量の商品はいつた
い何処に行くのだろうといつも気になってしま
います。

私が小さい頃は、クリスマスの長靴やケーキ
は、12月25日に売り切れるように数を計算され
ていて、買えなくても仕方ないものだと思っ
ていました。それがいつの頃からか多くの選択肢
と品物へと商戦方法が変わっています。

コンビニが11時閉店であれば「10時50分に
来たお客が選べる品数を準備しておくこと」
とマニュアルにある為、弁当などは処分しな
ければならない日々に絶対罰が当たりそうと
友人は心を痛めていました。

地球にはその日の食事を取れない人も多く
居る反面、片方ではその必要な食料の何倍も
の量を廃棄している現実にはやるせなさを感じ
てしまいます。更に服が大量に投棄されてい
るニュースを見て、食品でも誰かが作ってい
る訳で、その後活かされない商品のなれの果
てにはどこか違うと感じました。色んな意味
で持続可能で事業継続できるには、事業所や
世界機関が縦割りで行えばかりではなく、む
しろ一人ひとりの心がけや活動も大きな意味
を持っていると感じます。

心も体もリフレッシュ！！ 「青空ウォーキング」

前日までの雪が心配でしたが、当日は素晴らしい青空！

今回は、3つの班に分かれて活動しました。

雪景色を楽しみながら、約2時間ほどかけウォーキングをしました。

皆さんからは、「疲れたけど天気が良くて気持ち良かった」など、色々な感想がありましたが、心も体もすっきりした1日でした。

日頃から出来るだけ歩く習慣を心掛けたいですね！！



作業班1
芸工大
方面



作業班2・4
平清水
方面



作業班3
福の神公園
(雪遊び)
芸工大方面

